

令和
5年度

酒々井の町づくり

決算の説明

主な事業内容を説明します

- 7つの基本目標ごとに取り組んでいきます

人 自然 歴史 文化 が調和した
活力あふれるまち 酒々井

=目次=

目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）

1～14 ページ

目標2 人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり（教育・文化）

15～28ページ

目標3 豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり（生活安全）

29～30ページ

目標4 自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり（環境共生）

31～32ページ

目標5 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり（都市基盤）

33～35ページ

目標6 活力と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり（産業・経済）

36～39ページ

目標7 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

40～45ページ

各特別会計、水道・下水道事業

46～49ページ

資料の見方

- 目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）
この目標は総合計画における将来都市像を実現するための7つの基本目標の一つです

新規

- これは、その年度の新たな事業です

酒々押独自

- これは、町が独自で行っている事業です

◆〇〇〇事業◇ 12,345千円(△△課)

(財源：国県支出金6,172千円 地方債5,500千円 その他特財55千円 一般財源618千円)

- 「〇〇〇事業」に係る決算額及び担当課を記載しています。
- 財源内訳は、国県支出金、地方債、その他特財（使用料・手数料、分担金、負担金、寄附金、繰入金、諸収入等）です。一般財源とは、「〇〇〇事業」に係る財源内訳のうち、皆様から納められる税金や地方交付税等です。

目標1 誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり（健康・福祉・子育て）

子育て支援等の施策

一部酒々井町独自

◆子ども医療費助成事業◇ 59,982千円（こども課）

（財源：国県支出金15,588千円 一般財源44,394千円）
 保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、中学生までの医療費の自己負担分を助成しました。

酒々井町独自

新規

◆高校生医療費助成事業◇ 205千円（こども課）

（全額一般財源）
 保健の向上及び経済的負担の軽減を図るため、高校生の入院に係る医療費の自己負担分を令和5年8月診療分から償還にて助成しました。

◆児童手当支給事業◇ 217,112千円（こども課）

（財源：国県支出金182,402千円 一般財源34,710千円）
 中学校3年生までを対象に、児童手当を支給しました。

受給できる方：子どもを養育する父母等

児童手当の額：3歳未満	月額	1万5千円
3歳から小学校6年生まで		
第1子・第2子	月額	1万円
第3子以降	月額	1万5千円
中学生	月額	1万円

所得制限限度額以上、所得上限限度額未満の場合の児童手当の額：一律 月額 5千円



◆ひとり親福祉推進事業◇ 8,599千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金3,965千円 一般財源4,634千円）

*ひとり親家庭等医療費助成 7,776千円

ひとり親家庭の父母等及びその児童（年度末で18歳以下（心身の基準以上の障害がある場合は20歳未満まで）の医療費等の自己負担分の一部を助成しました。（入院・通院・調剤）

※支給者 174人

*町母子寡婦福祉会補助金 85千円

母子寡婦福祉会の活動を支援するため助成しました。

◆中央保育園運営事業◇

53,366千円(こども課)

(財源：国県支出金1,311千円 その他特財5,717千円 一般財源46,338千円)
就労等により昼間保護者が家庭にいない乳幼児を対象に保育を行いました。

※在籍人数(令和6年3月1日現在) 48人(うち管外0人)

◆岩橋保育園運営事業◇

122,541千円(こども課)

(財源：国県支出金3,648千円 その他特財21,832千円 一般財源97,061千円)
就労等により昼間保護者が家庭にいない乳幼児を対象に保育を行いました。

※在籍人数(令和6年3月1日現在) 129人(うち管外4人)

◆保育委託事業◇

195,823千円(こども課)

(財源：国県支出金147,555千円 その他特財4,089千円 一般財源44,179千円)
町立保育園以外の保育園等へ保育を委託しました。3歳児以上の幼稚園や保育園を利用する児童の保護者に対し施設を利用する認定や無償化の認定を行い、保護者が負担する保育料を無料としました。
私立昭苑こども園在籍人数(令和6年3月1日現在) 130人(うち管外4人)

管外委託保育 10人

◆子ども・子育て支援事業◇

31,137千円(こども課)

(財源：国県支出金16,663千円 その他特財100千円 一般財源14,374千円)
「子育て支援センター あいあい」では、様々な子ども・子育て支援事業を実施し、子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行いました。

*地域子育て支援拠点事業(保育士等による子育て中の親子の交流促進や育児相談等)

あいあい(週6日)利用者数 4,553人

しょうえんこどもこそだてルーム(週5日・委託)利用者数 1,102人

*ファミリー・サポート・センター事業(子育ての相互援助活動の連絡調整)

登録者数 108人 活動件数 123件

*利用者支援事業(身近な場所での教育・保育に関する相談等)

相談件数 511件



◆放課後子ども教室事業◇

1,456千円（こども課）

（財源：国県支出金441千円 一般財源1,015千円）

様々な体験等を通して児童の健全育成を図るため、小学校の体育館などを活用し、地域の方々の協力を得て、放課後子ども教室を開催しました。

酒々井小学校・大室台小学校…週1回開催

	開催日	開催日数	登録児童数	参加児童数（1日平均）
酒々井小学校	毎週火曜日	28日	219人	33人
大室台小学校	毎週月曜日	22日	208人	33人

◆放課後児童クラブ事業◇

53,362千円（こども課）

（財源：国県支出金31,132千円 一般財源22,230千円）

昼間、就労等により保護者がいない小学生を対象に、町内4か所において、放課後の安全な居場所を提供するとともに、遊びや学習等の支援を行い、児童の健全な育成を図りました。

名称	委託料・補助金	開設日数	登録児童数 (R6.3.31現在)
酒々井小学校児童クラブ	17,980千円	290日	94人
大室台小学校児童クラブ	17,436千円	287日	51人
昭苑学童クラブ	8,920千円	280日	60人
BEAR BEE 学童クラブ	2,847千円	245日	14人

酒々井町独自

◆高等学校等奨学給付金事業◇

700千円（こども課）

（全額一般財源）

低所得世帯等が扶養する子どもの高校進学に対し、必要な経費（入学金及び学用品の購入など）を10万円を限度に支給しました。支給件数 7件

臨時特別給付金

コロナ対策

◆電力・ガス・食料等価格高騰緊急支援給付金支給事業◇ 50,798千円（健康福祉課）

（財源：全額国県支出金）

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、物価・賃金・生活総合対策として、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し生活・暮らしの支援を行う観点から、令和5年度住民税均等割非課税世帯及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、令和5年1月以降に家計が急変し、世帯全員が令和5年度住民税均等割が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯に対し、1世帯あたり3万円を支給しました。

*支給世帯 1,512世帯

物価高対策

◆電力・ガス・食料等価格高騰緊急支援給付金支給事業◇ 118,210千円（健康福祉課）

（財源：全額国県支出金）

政府の総合経済対策として、新たな物価高騰対策である「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」活用して、低所得世帯等に1世帯あたり7万円を給付しました。

*支給世帯 1,635世帯

社会福祉施策

◆社会福祉一般事務費◇ 61,298千円（健康福祉課）

酒々井町独自

（財源：その他10千円 一般財源61,288千円）

*しすいふれ愛タクシー運行事業 25,590千円

巡回・デマンド複合型新総合交通システム（しすいふれ愛タクシー）の円滑な運営を図るため、社会福祉協議会に事業を委託し、高齢者などの日常生活の利便性の向上を図りました。

*車両 3台（10人乗り2台・13人乗り1台）

*運行日数・利用者 243日・延べ 11,347人

*福祉団体等助成事業 27,125千円

福祉活動を行う団体に対して、活動を支援するため助成しました。

*町社会福祉協議会 26,475千円

*町遺族会 100千円

*町更生保護女性会 50千円

*蛍雪学園 500千円

◆民生委員児童委員活動事業◇

1, 330千円（健康福祉課）

（財源：国県支出231千円 一般財源1,099千円）

*町民生委員児童委員協議会補助金 296千円

民生委員児童委員の活動を支援するため助成しました。

障害福祉施策

◆障害者福祉事業◇

45, 343千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金15,814千円 一般財源29,529千円）

*重度心身障害者医療費給付事業 26, 567千円

重度の身体・知的・精神障害者の医療費等の自己負担分を助成しました。

（入院・通院・調剤）

*支給者 59人



酒々井町独自

*福祉タクシー事業 547千円

重度の身体障害者、知的障害者がタクシーを利用した場合、料金の2分の1（1,000円を上限）を助成しました。

*利用者 69人

*ねたきり身体障害者・重度知的障害者福祉手当支給事業 840千円

在宅の20歳以上のねたきりの身体障害者や重度の知的障害者又はその介護者の経済的負担の軽減を図るため、月額8,650円を支給しました。

*支給者 9人

*指定難病見舞金支給事業費 4, 551千円

指定難病の療養者に月額3,000円の見舞金を支給しました。

*支給者 139人

酒々井町独自

*紙おむつ等購入助成事業 1, 720千円

在宅で身体障害者・療育手帳をお持ちの方に、紙おむつ等購入助成券（1枚1,000円、月3枚）を交付しました。

*利用者 64人

*障害者グループホーム等入居者家賃助成・運営費補助事業 3, 777千円

障害者の地域生活移行を促進し、障害者の福祉の増進に寄与するため、障害者グループホーム

運営者に運営費補助金を入居者へ家賃助成を支給しました。

*支給施設 9施設

*支給者 19人

*福祉団体助成事業 400千円

福祉活動を行う団体に対して、活動を支援するため助成しました。

*町手をつなぐ親の会 400千円

◆障害者総合支援事業◇

438,839千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金311,351千円 一般財源124,272千円 その他3,216千円）

*自立支援給付 317,053千円

障害者に介護給付費・訓練等給付費、自立支援医療費、補装具費等を給付しました。

*介護給付費・訓練等給付費 283,215千円 延べ 2,109人

*自立支援医療費 32,615千円

利用者 育成医療 入院2人

更生医療 通院39人、入院15人

療養介護医療 3人

*補装具費 1,223千円 利用者 16人

*地域生活支援事業 22,137千円

障害者の地域での生活を支援しました。

*相談支援事業 11,647千円 利用者 359人

*意思疎通支援事業 754千円 利用者 8人

*日常生活用具給付事業 4,130千円 利用者 38人

*手話奉仕員養成研修事業 269千円 利用者 7人

*移動支援事業 713千円 利用者 7人

*地域活動支援センター事業 350千円 利用者 2人

*訪問入浴サービス事業 2,193千円 利用者 3人

*日中一時支援事業 2,081千円 利用者 14人

*障害児給付 84,274千円

児童発達支援、放課後等デイサービス等を行いました。

*児童発達支援 利用者延べ 320人

*放課後等デイサービス 利用者延べ 986人

高齢者福祉施策

◆老人福祉事業◇

25,152千円（健康福祉課）

（財源：その他1,669千円 一般財源23,483千円）

*生きがいデイサービス事業 4,061千円

介護保険の認定を受けていない高齢者の介護予防を目的に、隣保館、中央公民館を会場に事業を実施しました。 *参加者 69人

*緊急通報装置貸与事業 3,552千円

65歳以上のひとり暮らし高齢者、ひとり暮らしの重度身体障害者、高齢者世帯で世帯に属する者のいずれかが介護認定者又は重度身体障害者である方に、緊急通報装置を貸与しました。

*貸与者 81人

*はり・きゅう・マッサージ等施術利用料助成事業 5,068千円

65歳以上の方に、はり・きゅう・マッサージの利用券（1枚1,000円・月2枚）を交付しました。 *利用者 524人

*福祉タクシー事業 929千円

介護保険の要支援2又は要介護認定者がタクシーを利用した場合、料金の2分の1（1,000円を上限）を助成しました。 *利用者 112人

*紙おむつ支給事業 1,915千円

在宅で、市町村民税非課税世帯に属する要介護1・2の方又は要介護3以上の方*に対し、紙おむつ等購入助成券（1枚1,000円、月3枚）を交付しました。（※所得制限あり）

*利用者 90人

*老人福祉大会事業 425千円

9月18日 老人福祉大会開催

88歳の方へ顕彰状および記念品を町・酒々井町社会福祉協議会から贈呈しました。

*88歳長寿者 113人

*80歳の青年式事業 249千円 「会場変更の影響により式典中止」

80歳以上の健康者表彰対象者へ顕彰状および記念品を送付しました。

*80歳以上の健康者表彰 86人

*町水仙クラブ連合会補助金 1,300千円

水仙クラブ連合会の活動を支援するため助成しました。

*18団体 267人



***高齢者外出支援タクシー利用助成事業 6,041千円**

75歳以上で運転免許証を有していない方又は病気などにより自動車などを運転することができない方に対し、タクシー利用助成券(1枚500円)を年度分として最大48枚を交付しました。

*利用者 530人

***高齢者運転免許証自主返納支援事業 80千円**

運転免許証を自主返納された方で、自主返納時の年齢が70歳以上75歳未満の方に対し、外出を支援するため、タクシー利用助成券を交付しました。(交付は、1人1回限り)

*利用者 19人

***結婚50周年夫婦記念品支給事業 187千円**

婚姻後50周年を迎えた夫婦に対し、記念品を贈りました。*利用者 17組

◆交流拠点施設げんき館運営事業◇ 3,641千円(健康福祉課)

(財源：全額その他)

高齢者など多世代が交流できる拠点施設を指定管理者により運営しました。

延べ入館者数 4,266人、一日あたり平均約14人

◆生きがい創造支援事業◇ 1,480千円(住民協働課)

(全額一般財源)

高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かすための就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実に向けた支援を行いました。

◆後期高齢者医療事業◇ 311,655千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金37,313千円 その他6,598千円 一般財源267,744千円)

※療養給付費負担金 230,386千円(市町村定率負担分1/12に相当する額)

※保健事業

健康増進並びに医療費の適正化を図るため、千葉県後期高齢者医療広域連合からの委託により、後期高齢者を対象とした健康診査を実施するとともに、病気の早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の7割を助成しました。

*高齢者の健康診査 4,630千円 655人受診

*人間ドック費用の助成 9,531千円 237人利用

国民年金事業

◆国民年金一般事務費◇

4,105千円（健康福祉課）

（財源：国県支出金4,055千円 一般財源50千円）

国民年金の資格取得届、免除申請、裁定請求等の受付と日本年金機構への報告及び送付を行いました。また、国民年金に関する相談と社会保険労務士による年金全般に関する相談を年6回実施しました。これらの年金相談や届出時の説明により、年金制度の意義・役割の周知と保険料納付の促進を図りました。

*資格取得届等 1,184件 *免除申請送付 1,099件

*裁定請求 34件 *相談数 1,576件

健康づくり施策

◆保健センター一般事務費◇

32,004千円（健康福祉課）

（全額一般財源）

*夜間医療体制等の確保 3,792千円

夜間、日曜日・祝日及び年末年始の医療、小児初期急病診療サービスを確保しました。

【印旛市郡小児初期急病診療所】（0～15歳）

診療日	診療時間
月～土曜日	19時～23時
日曜日・祝日・年末年始	9時～17時、19時～23時

場 所：佐倉市江原台2-27（佐倉市健康管理センター内）

電 話：043-485-3355

【成田市急病診療所】

診療科目	診療日	診療時間
内科	毎日（日曜日を含む）	19時～23時
小児科	日曜日・祝日8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
外科	日曜日・祝日8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時
歯科	祝日（日曜を除く）・振替休日 8月13日～15日・12月29日～1月3日	10時～17時

場 所：成田市赤坂1-3-1（成田市保健福祉館敷地内）

電 話：0476-27-1116

新規

*保健センター改修事業 19,857千円

昭和59年3月に建設された保健センターは、地域保健の重要な役割を担っている施設であり、また、災害時の救護所として位置づけられていることから、町民の生命と健康を守るため、改修事業に係る設計業務を行いました。

◆予防接種事業◆

49,727千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金456千円 一般財源49,271千円)

次の予防接種を行い、個人の健康管理を行うとともに感染症の流行防止に努めました。

	対 象	内 容	費 用	対象者数 (人)	接種者数 (人)
定 期 接 種	乳幼児	百日せきジフテリア破傷風ポリオ混合	無 料	344	372
		麻しん風しん混合(1期・2期)		211	189
		BCG		86	83
		日本脳炎(1期・2期)		464	405
		ヒブ		344	312
		小児用肺炎球菌		344	348
		水痘		184	169
		B型肝炎		258	257
		ロタウイルス		172	185
	9歳～19歳	日本脳炎(特例措置)	—	—	28
	小学6年生	ジフテリア破傷風混合	—	146	118
	小学6年生～高校1年生女子(女子)・未接種者	子宮頸がん (ヒトパピローマウイルス)	—	1,227	225
	任 意 接 種	65歳以上希望者	インフルエンザ	助成額 4,000円	6,712
65歳以上で5歳刻み年齢の未接種者		高齢者肺炎球菌	助成額 4,600円	880	201
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性		抗体検査	無料	1,800	120
		麻しん風しん混合	無料	—	20
	2歳～17歳の未接種者	麻しん風しん混合	無料	—	1
	18歳以上の妊娠を希望する女性とその配偶者	麻しん風しん混合	助成額 麻しん風しん 5,000円 風しんのみ 3,000円	—	7

コロナ対策

◆感染症予防対策事業◇

76,225千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金67,869千円 一般財源8,356千円)

新型コロナウイルス感染症の予防および重症化予防のため新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました。また、実施に向けてシステム改修、コールセンターの設置、接種券作成等を行いました。

◆結核健康診断事業◇

1,368千円(健康福祉課)

◆健康増進事業◇

25,204千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金2,563千円 その他2,173千円 一般財源21,836千円)

保健センターを主な会場に、健康教育、健康相談、健康手帳の配布、各種検診を行いました。

項 目		対象等	実施回数・参加者数
健康教育	糖尿病予防教室※	20歳以上	1回・26人
	ヘルスアップセミナー※	20歳以上	7回・延べ36人
	いきいきしすいっ子教室	酒々井小・大室台小 5年生	各校1回 125人
健康相談	—	来所者 延べ97人 電話 延べ23人	
健康手帳の配布	20歳以上の希望者	325人	
健幸ポイント事業	酒々井町独自	20歳以上の町民	16人

項 目		対 象	自己負担	対象者数 (人)	受診者数 (人)
乳がん検診	エコー	30歳代・40歳代偶数歳	保健センター1,000円 医療機関2,000円	6,892	128
	マンモグラフィ	50歳以上・40歳代奇数歳	保健センター1,000円 医療機関2,000円		1,069
子宮頸がん検診		20歳以上	保健センター1,000円 医療機関2,000円	4,358	525
胃がん検診		40歳以上	1,000円	13,255	735
大腸がん検診		40歳以上	保健センター300円 医療機関700円	13,255	1,798

結核・肺がん検診	40歳以上	300円	13,255	1,354
肝炎ウイルス検診	40歳以上	無料	2,245	318
骨粗しょう症予防検診	30・35・40・45・ 50・55・60・65・ 70歳(女性)	500円	1,073	212
成人歯科検診	40歳以上	無料	13,200	107

※乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診には、無料クーポン券によるがん検診受診者を含む。

再掲 無料クーポン券によるがん検診

項目	対象	対象者数 (人)	受診者数 (人)
子宮頸がん検診	20・25・30・35・40歳	544	83
乳がん検診(マンモグラフィ)	40・45・50・55・60歳	674	167
大腸がん検診	40・45・50・55・60歳	1,335	167

*酒々井健康プラン策定業務 1,144千円

子どもから高齢者まで誰もがいきいきと輝くまちづくりを目指して健康増進・食育推進・歯科口腔保健・自殺対策を一体的に推進するため、平成31年3月に策定した「酒々井健康プラン」の中間評価を令和5、6年度の継続事業として実施し、計画内容の見直しを行います。

令和5年度は、18歳以上の町民、小学4年生及び中学1年生を対象者にアンケート調査を実施しました。令和6年度は、アンケートを集計し現状の把握、課題の整理、中間評価、計画の改訂を行う予定です。

◆母子保健推進事業◇

31,593千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金15,698千円 その他6千円 一般財源15,889千円)

次の母子保健事業を行いました。

事業名	対象	実施期間	対象者数(人)	受診者・参加者数(人)
母子健康手帳交付	妊婦	通年	95	(面接者数) 94
妊婦・乳児支援タクシー 酒々井町独自	妊婦・産婦	通年	79	利用者 36
妊婦・乳児 一般健康診査	妊婦(14回) 乳児(2回)	通年	108 —	延べ 1,094 延べ 109

ママ・パパ歯科検診	妊婦 配偶者	通年	妊婦 95 配偶者 —	妊婦 30 配偶者 16
マタニティ ・ママパクラス	妊婦・家族	1コース4回 年3コース	—	延べ 104
新生児・産婦訪問指導	新生児・産婦	通年	94	94
産後ケア事業	産婦	通年	88	延べ 10
出産子育て応援給付金	妊婦 養育者	通年	178 169	178 169
乳児相談	4か月児	年11回	85	75
	10か月児		89	71
出生祝品の配布 (ブックスタート)	4か月児	年11回	85	78
幼児健康診査	1歳6か月児	年6回	100	89
	3歳児	年6回	85	85
2歳児歯科健康診査	2歳児	年4回	82	63
なかよしはみがき教室	保育園児 幼稚園児	年6回	94	86
幼児健診事後指導教室 (遊びの教室どんぐり)	幼児・保護者	年12回	—	延べ 40組
心理発達相談 (親子相談)	幼児・保護者	年10回	—	延べ 17組
ことばの教室プラム	3歳6か月 ～未就学児	年25回	—	延べ 74

酒々井町独自

幼稚園と小・中学校の施策

酒々井町独自

◆私立幼稚園補助事業◇

251千円(こども課)

(全額一般財源)

*私立幼稚園運営費・教材費補助事業

251千円

町内の私立幼稚園(子ども・子育て支援法の確認を受けた私立幼稚園を除く。)に運営費及び教材費を補助しました。

*運営費補助金	1園当たり	20万円	
*教材費補助金	園児(町内在住)	1人当たり	1千円



◆教育総務一般事務費(学校教育課)◇ 67,590千円(学校教育課)

(財源: 国県支出金399千円 その他特財178千円 一般財源67,013千円)

*特別支援学級介助員配置事業(酒小4人、大小2人) 6,781千円

小学校の特別支援学級に在籍する児童の学習活動や学校生活の支援・補助を行うため、介助員を配置しました。

酒々井町独自

*学習指導等専門支援員配置事業(小2人、中3人) 5,884千円

特色ある教育活動を推進するための支援員を小・中学校に配置しました。

*学習指導等専門支援員(理科専属)配置事業 2,032千円

小学校5・6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の支援員を2校に配置しました。

酒々井町独自***教育アドバイザー配置事業（2人） 3,527千円**

国際交流事業やALT（外国語指導助手）の活用を図るとともに、外国人等への日本語指導を行うアドバイザーを小・中学校に派遣しました。

酒々井町独自***学習活動支援員（介助員）配置事業 4,734千円**

小・中学校へ通う肢体不自由等の理由から特別に支援を要する児童生徒個人を支援するため、介助を目的とした支援員（3人）を小・中学校に配置しました。

***部活動指導員配置事業 195千円**

生徒の心身を鍛え、健やかな成長を促すため、中学校に部活動指導員を配置し、部活動の充実を図りました。

酒々井町独自***学校保健支援教員配置事業 1,589千円**

学校保健支援教員1名を配置し、養護教諭が校外学習等で不在の時などに、各学校へ出向き保健室の対応を行いました。

また、学校集団検診等の補助、記録の入力など養護教諭を補佐しました。

***ICT授業支援教員配置事業 2,658千円**

学校教育課にICT授業支援教員1名を配置し、各学校に週1日以上出向き、令和3年度から本格運用を始めた1人1台パソコンを活用した授業の支援を行いました。

酒々井町独自***教育ファシリテーター配置事業 2,074千円**

学校教育課に教育ファシリテーター1名を配置し、行政組織との連絡調整や地域学習等の教材開発を通じた「酒々井学(ふるさと学習)」の学習プログラムを作成・実施するとともに授業への支援を行いました。

酒々井町独自***酒々井学推進事業****730千円**

酒々井町の郷土の歴史に対して、実感をもって学習できるように、各小学校に設置した学校郷土資料館を継続的に整備し、展示内容の充実化を図りました。

また、小・中学校の地域学習・地域活動への支援を行うために、行政組織等との連絡調整や地域素材を活用した「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、児童生徒のふるさと意識の向上を図りました。

酒々井町独自***スクールバス運行業務委託事業****14,280千円**

酒々井小学校の遠距離通学の児童に対して、町ふれ愛タクシーをスクールバスとして委託し、馬橋、墨、伊篠、伊篠新田地区等の児童の交通手段を確保しました。

なお、平成29年度からは、町ふれ愛タクシー（3台）と町所有車（1台）の合計4台で運行しました。

酒々井町独自***人権・同和教育研究補助金****200千円**

人権・同和教育の推進を図るため、町教育委員会が指定した小学校又は中学校の研究指定校に対し、研究活動費として補助金を交付しました。

酒々井町独自***保小中連携事業活動補助金****300千円**

保育園(こども園)・小学校・中学校で相互の連携を促進し、接続の円滑化を図ることにより、生徒指導や学習指導を継続的に実施しました。小一プロブレム、中一ギャップの解消にもつながる連携活動に対して補助金を交付しました。

酒々井町独自***町立小・中学校修学旅行費補助金****1,500千円**

令和4年度から、保護者の経済的負担の軽減を図るため、町立小・中学校が実施する修学旅行に対し、小学校は1学級当たり10万円、中学校は1学級当たり20万円の補助金を交付しました。

酒々井町独自

◆児童生徒国際交流振興事業◇ 16,608千円（学校教育課）

（財源：その他特財77千円 一般財源16,531千円）

【外国語教育】

*英語専科教員（2人） 4,334千円

令和2年度から開始された小学校5・6年生の教科「英語科」について児童の英語力向上のため英語専科教員を各小学校に配置し、あわせて学習指導や学習評価を実践研究しつつ、学校職員への研修も実施しました。

*外国語指導助手（ALT：3人） 10,183千円

小・中学校にALT（外国語指導助手）を1名ずつ配置し、ネイティブな英語にふれることを通じて、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力を高め、児童生徒の確かな学力を育みました。

さらに保育園（こども課：業者委託 週1回 3～5歳児対象）で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施しました。

【国際交流事業】

*派遣事業 0千円

酒々井中学校生徒をドイツへ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力等のコミュニケーション能力の育成を目的としている派遣事業です。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により渡航困難等のため事業を中止としました。

*受入れ事業 0千円

隔年でドイツから生徒を受け入れる事業です。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により渡航困難等のため事業を延期としました。

酒々井町独自

◆ふれあい教室運営事業◇ 2,268千円（学校教育課）

（全額一般財源）

教育委員会に適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を取り入れ、集団適応と学校復帰を支援しました。

酒々井町独自

◆学校図書館推進事業◇

2,350千円（学校教育課）

（全額一般財源）

各小・中学校図書館に図書館アシスタントを配置し、児童生徒の生涯にわたる読書習慣の育成と学校図書館の活用推進を図りました。また、町立図書館と学校図書館が連携し、学校図書館の機能の充実と児童生徒の図書館活用のための支援を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（学校教育課）◇7,917千円（学校教育課）

（財源：国県支出金291千円 その他特財183千円 一般財源7,443千円）

酒々井町独自

*パワーアップE助成事業

74千円

英語への理解・関心をさらに高めるため、町立小学校6年生の全児童に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

酒々井町独自

*酒々井小学校水泳指導委託事業

3,364千円

酒々井小学校のプールは老朽化により使用できないため、施設の借用及び水泳指導（送迎を含む）を民間企業に業務委託しました。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金

200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。

（注）CTSは、Child, Teacher, School・Societyの略。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業

1,857千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆酒々井小学校教育振興事業（酒々井小）◇4,245千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*酒々井小学校教育活動の充実

2,500千円

酒々井小学校の教材備品や学校図書の実を充実を図りました。

◆大室台小学校教育振興事業（学校教育課）◇ 1,915千円（学校教育課）

（財源：国県支出金146千円 その他特財140千円 一般財源1,629千円）

酒々井町独自

*パワーアップE助成事業 75千円

英語への理解・関心をさらに高めるため、町立小学校6年生の全児童に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

酒々井町独自

*豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 200千円

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、小学校に補助金を交付しました。

*要保護・準要保護就学援助費支給事業 677千円

経済的理由により、就学困難と認められる児童の保護者に対し就学援助を行いました。

◆大室台小学校教育振興事業（大室台小）◇ 4,041千円（学校教育課）

（全額一般財源）

*大室台小学校教育活動の充実 2,500千円

大室台小学校の教材備品や学校図書の実を図りました。

◆中学校教育振興事業（学校教育課）◇ 8,298千円（学校教育課）

（財源：国県支出金249千円 その他特財195千円 一般財源7,854千円）

酒々井町独自

*パワーアップE助成事業 686千円

国際交流及び国際理解教育を推進する中で、さらに英語力の向上を図るため、町立中学校3年生の全生徒に対して、英語検定の検定料を1人年1回全額助成しました。

酒々井町独自

*中学校部活動事業補助金 1,737千円

中学校の部活動の中で対外的な練習試合や大会などへの参加に要する費用等を援助するため、中学校に補助金を交付しました。

酒々井町独自***豊かな心を育むCTSプラン事業補助金 300千円**

学習指導要領の趣旨に添い豊かな心を育む特色ある教育活動を行うため、中学校に補助金を交付しました。

***要保護・準要保護就学援助費支給事業 4,117千円**

経済的理由により、就学困難と認められる生徒の保護者に対し就学援助を行いました。

◆中学校教育振興事業（酒々井中）◇ 4,798千円（学校教育課）

（全額一般財源）

***酒々井中学校教育活動の充実 2,600千円**

酒々井中学校の教材備品や学校図書の実を図りました。

◆給食センター管理事業◇

4,498千円（給食センター）

（全額一般財源）

学校給食センターの運営及び施設設備の維持管理を行いました。

学校給食費を公費化し、保護者の利便性の向上や教職員の事務の負担軽減、会計の透明性や公平性の確保を図りました。

*施設設備保守点検委託料	2,596千円
*給食費収納管理システム賃借料	632千円
*各種検査等手数料	330千円

◆給食事業◇

165,501千円（給食センター）

（財源：国県支出金3,410千円 その他特財63,252千円 一般財源98,839千円）

学校教育における児童・生徒の心身の発達のための食を提供します。また、学校給食を通して子どもたちに食の理解や地域社会の環境や文化、栄養改善及び健康の増進、社会性や食事のマナーを身につける等の教育効果を図りました。

経年劣化が著しい調理施設設備について機器の修繕や交換を行いました。

*学校給食賄材料費 （地元食材購入費 6,245千円含む。）	87,982千円
*第3子以降学校給食費免除制度	6,821千円
*学校給食調理配膳業務委託料	15,499千円（R5.7.31まで）
*学校給食配送業務委託料	4,690千円（R5.7.31まで）
*学校給食調理等業務委託料	42,416千円（R5.8.1～R7.7.31）
*給食調理機器設備更新事業 ・調理用備品購入（給食用箸籠等）	136千円



国指定史跡 本佐倉城跡の整備

酒々井町独自

◆本佐倉城跡保存整備事業◇

9,818千円（生涯学習課）

（全額一般財源）

国指定史跡本佐倉城跡の保存・活用のための史跡整備事業を行いました。

令和5年度は城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を継続して行いました。また、平成29年度に発掘調査を行った根古谷地区バス回転場の報告書の作成・刊行を行いました。

周知・普及事業としては、案内所の運営を継続して行い、令和5年度には来場者として11,499人が訪れました。また、案内所等で配布するパンフレットの増刷を行いました。2月17日には佐倉市と共催で城跡の見学会を実施して93名の参加がありました。さらに本庁舎入口における調査概要展示や公民館での町の通史展示を継続して実施しました。



国指定史跡 墨古沢遺跡の整備

酒々井町独自

◆墨古沢遺跡保存整備事業◇

74,574千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金3,500千円 地方債52,600千円 一般財源18,474千円）

令和元年10月に日本最大級の旧石器時代の「環状ブロック群」として国指定史跡となった墨古沢遺跡について、今後の保存・整備・利活用に向けた保存整備事業を進めました。

令和5年度は、これまでに策定が行われた『保存活用計画』『整備基本計画』を基に、今後予定する本格的史跡整備事業に向けてさらに具体的な遺構整備・施設等の設計についてまとめた『整備基本設計書』（遺構整備、ガイダンス施設・展示）の作成や付替え予定町道の実施設計を行いました。併せて整備・活用の方法を的確かつ具体的に検討するため有識者による整備活用委員会を3回開催しました。

また、史跡の活用を推進するため、史跡東側隣接地3,283.01㎡の公有地化を行いました。

周知・普及事業としては、12月16日のミニ講演会や10月28日に千葉工業大学と連携したワークショップを開催したほか、引き続きコミュニティプラザでの展示会を実施しました。

歴史・文化の保全

酒々井町独自

◆町内埋蔵文化財調査事業◇

4,977千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1,200千円 一般財源3,777千円）

令和4年度に個人住宅建設に伴い、事前に緊急発掘調査を実施し、記録保存を行った町内遺跡（下宿栗ノ洲遺跡）について、引き続き発掘調査成果をまとめる整理作業・報告書刊行作業を実施しました。

また、経年劣化により腐食が進む町内の遺跡から出土した金属製品8点について保存処理業務を行いました。



酒々井町独自

◆まちの顔づくり推進事業◇

5,980千円（生涯学習課）

（財源：その他特財10千円 一般財源5,970千円）

江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を行い、観光資源として活用すると共に、交流人口の増加を図りました。

令和5年度は、昨年度から継続事業として行っている酒々井町歴史的建造物利活用計画作成を実施したほか、国登録文化財・蒔吉五郎家及び町登録文化財・相川文子家の管理・整備を行いました。

生涯学習の施策

◆社会教育一般事務費◇

3,577千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金755千円 一般財源2,822千円）

*成人の祝い（20歳）：式典・二十歳の方主催による「二十歳のつどい」を開催しました。

*家庭教育：家庭教育の充実を図るため、家庭教育指導員による家庭教育相談や小学校就学前の保護者、小・中学校の保護者を対象にそれぞれの家庭教育学級を開設しました。

ローズマリー学級・酒々井小学校家庭教育学級・大室台小学校家庭教育学級・酒々井中学校家庭教育学級。全ての保護者が安心して子育てを行える体制を構築するため、教育委員会と福祉部局が連携して、家庭教育支援チームを組織し、ローズマリー学級と子育て支援センターが合同で保護者向け講座を実施するなど、家庭教育支援の推進に努めました。

*人権教育：人権教育を推進するため、人権教育セミナーを6回開催して人権意識の向上に努めました。

酒々井町独自

◆学校教育支援促進事業◇

1, 844千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金1, 137千円 一般財源707千円）

* 地域学校協働本部

町立各小・中学校に学校と地域ボランティアの調整役であるコーディネーターを配置するとともに、地域ボランティアとコーディネーターの活動拠点である地域ルームを設置し、学校教育支援を行いました。

* 地域未来塾

酒々井町中央公民館を主な会場として、中学生に対して元教員などの地域住民の協力を得て学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るため、英語と数学の学習支援を32回行いました。

酒々井町独自

◆土曜日の教育支援体制等構築事業◇

1, 560千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金265千円 一般財源1, 295千円）

* こども青樹堂（3・4年生、5・6年生）

子どもたちの豊かな人間形成を育むことと確かな学力の定着を目的として、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場を開設しました。

酒々井小学校・大室台小学校児童を対象とした国語と算数の復習と総合学習を実施しました。

◆青少年健全育成事業◇

1, 463千円（生涯学習課）

（財源：国県支出金65千円 一般財源1, 398千円）

青少年健全育成を図るため、青少年相談員事業と子ども会事業を展開しました。

* 子ども会対象事業：町ウォークラリー大会や町スポレク祭に参加し、門松づくり（体験教室）を実施しました。

* 青少年相談員事業：防犯パトロール（2回）・釣り大会・伝統文化教室（たこ作り教室・たこあげ大会）・星空の映写会・オールナイトハイク・星空の観察会を実施しました。



酒々井町独自

◆公民館活動事業◇

6,041千円（中央公民館）

（財源：国県支出金252千円 その他特財36千円 一般財源5,753千円）
町民大学青樹堂（公民館主催事業）を中心として各種講座を開催しました。

【酒々井町青樹堂】

- *町民大学青樹堂（2年制）
- *一般講座（初心者向けパソコン教室・腸活・スクエアダンス）
- *文化祭、公開講座など



◆公民館管理事業 維持管理◇

17,264千円（中央公民館）

（財源：その他特財1,277千円 一般財源15,987千円）
中央公民館の維持・運営をするための経常的経費です。

- *光熱水費（電気・ガス・水道） 2,783千円
- *設備の保守管理委託等
（清掃・消防・冷暖房・エレベーター・自動ドア・警備等） 5,943千円
- *施設修繕費 324千円
- *窓口職員報酬・共済費 7,486千円
- *その他（電話代・修繕料・コピー代・消耗品代等） 728千円

◆プリミエール管理事業◇

25,937千円（プリミエール酒々井）

（財源：地方債5,000千円 その他特財2,704千円 一般財源18,233千円）
プリミエール酒々井の維持・修繕をするための経常的経費です。

- *施設維持管理費（保守・点検等） 20,294千円
- *改修工事費（舞台機構設備正面反射板走行ローラー改修） 5,643千円

◆プリミエール運営事業◇

21,278千円（プリミエール酒々井）

（財源：その他特財43千円 一般財源21,235千円）
プリミエール酒々井は、文化芸術をはじめとする生涯学習の向上及び推進を図るための文化ホールと図書館を併設した文化施設であり、町民の生涯学習の場、交流の場としての情報発信施設となるように運営を行いました。

- *図書館資料等購入費 5,653千円

町民の読書や多様な学習要求に応えるため、図書や電子書籍コンテンツ、CD・DVD、新聞・雑誌など、蔵書の充実を図りました。

- *図書館情報システム賃借料 3,623千円
 図書館情報システムにより、利用者の利便性向上及び情報提供に努めました。
- *会計年度任用職員報酬・共済費 9,536千円
 司書助手6名、文化ホール機器操作員3名
- *自主事業費 458千円

リッチハートコンサート・オータムコンサート・図書館講演会

図 書 館 (蔵書数 87,000冊)				
個人貸出冊数	1日平均貸出冊数	町民1人当たり貸出冊数	開館日数	
70,258冊	248冊	3.5冊	285日	
登録者数	町民登録率	読書通帳配付数	電子書籍サービス	
5,708人	25.3% (町外登録者623人を除く)	75冊 (延べ1,866冊)	利用者数	利用冊数
			285人	1,291冊

※町人口20,106人(令和6年4月1日現在)

◆保健体育活動事業◇

7, 301 千円（生涯学習課）

(財源：国県支出金70千円 その他特財60千円 一般財源7, 171千円)

生涯スポーツを推進するため、各種スポーツ教室・大会や、軽スポーツの体験の場を提供しました。
また、順天堂大学と連携しながら公開講座など各種事業を実施しました。

1 各種大会

大会名	回数	実施時期
野球大会	年2回	4月・9月
卓球大会	年2回	5月・11月
ウォークラリー大会	年1回	5月
バレーボール大会	年1回	6月
印旛郡市民スポーツ大会	年1回	7月
ソフトテニス大会	年1回	8月
ソフトボール大会	年1回	9月
町長杯少年野球大会	年1回	9月
町スポーツ・レクリエーション祭	年1回	10月
テニス大会	年1回	10月
バドミントン大会	年1回	11月
ゴルフ大会	年1回	11月
印旛駅伝競走大会	年1回	12月
町駅伝競走大会	年1回	1月
町長杯少年サッカー大会	年1回	3月

2 各種教室

教室名	実施時期	対象者
オリ・パラ関連事業 トップアスリートによる講演	6月・3月	中学生他
剣道教室	通年	小学生以上
柔道教室	通年	小学生以上
空手道教室	通年	小学生以上
サッカー教室	通年	小学生以上
テニス教室	5月・9月	20歳以上
カヌー教室	6月	小学4～6年
水泳教室	7月	小学4～6年
ライトスポーツクラブ	通年	小学生以上
順天堂大学公開講座（親子スポーツ教室）	10月	小学生親子
順天堂大学連携「おとな」もスポーツテスト	11月	成人・高齢者
順天堂大学連携陸上競技教室	3月	小中学生

◆体育施設管理事業◇

5, 194千円（生涯学習課）

(財源：地方債3, 700千円 一般財源1, 494千円)

体育施設の維持・運営をするための経費です。

*町体育館等解体整備事業

4, 180千円

(酒々井町体育館及び酒々井小学校プール解体工事実施設計業務委託)

防 災

◆防災一般事務費◆

2,801千円(総務課)

(全額一般財源)

感染症対策を講じた避難所運営や防災体制の確立のため防災訓練の実施及び必要な資機材、備蓄品を整備したほか、町民及び自主防災組織に対する自助・共助の推進を図るため、ぼうさい出前講座を実施しました。

◆防災行政無線管理整備事業◆

5,329千円(総務課)

(全額一般財源)

防災行政無線設備の正常な機能を維持するとともに、故障等の発生を未然に防止することを目的に保守点検業務を行いました。

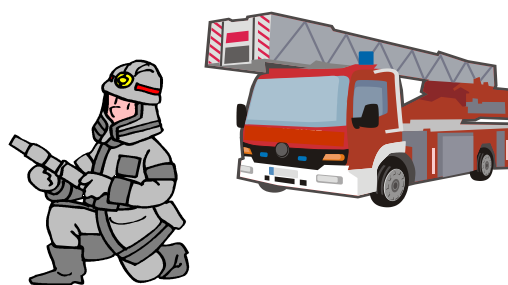
消 防

◆佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金◆ 484,489千円(総務課)

(全額一般財源)

消防組合の運営に係る負担金です。

(構成市町：佐倉市、八街市、酒々井町)



◆消防団事業◆

13,437千円(総務課)

(財源：国県支出金559千円 一般財源12,878千円)

地域の安全確保に大きな役割を果たしている消防団については、消防団員の消防技術の向上を図るための各種訓練の実施及び火災発生時に備え、機械器具一斉点検を実施しました。

また、災害の多発化、激甚化に備え、地域防災の中核を担う消防団員の確保、育成に努めるとともに、消防団員の活動服を更新しました。

◆消防施設事業◇

13,952千円（総務課）

（財源：国県支出金633千円 地方債9,100千円 一般財源4,219千円）
 消防団装備品や消防機庫、消防車、防火水利等の維持管理を行うとともに、老朽化した小型動力ポンプ付積載車1台を更新しました。

交通安全、防犯の施策

◆交通安全対策事業◇

10,755千円（まちづくり課）

（全額一般財源）

道路標識、ガードレール、カーブミラー、区画線などの交通安全施設の整備及び維持管理を行いました。

◆防犯街灯事業◇

24,459千円（まちづくり課）

（全額一般財源）

町管理及び自治会等管理の防犯街灯の整備及び維持管理を行いました。

*自治会管理防犯街灯補助

電気料補助 当該年度4月分電気料×12か月×70%

修理費補助 修理費×50%

新規設置等補助 工事費×50%（上限：共架25,000円・小柱40,000円）

◆防犯事業◇

3,809千円（総務課）

（財源：国県支出金145千円 一般財源3,664千円）

自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行うとともに、安全で安心なまちづくりの推進を図るため、犯罪抑止対策を目的として、防犯啓発活動を実施しました。

◆防犯ボックス事業◇

10,315千円（総務課）

（財源：国県支出金3,000千円 その他61千円 一般財源7,254千円）

警察官OBを配置した防犯ボックスを運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視活動等を実施し、地域防犯力の向上と女性や子どもをはじめ、住民が安心して暮らせる地域づくりの推進を図りました。

環境、ごみ、リサイクル、不法投棄

◆環境衛生対策事業◇

21,917千円(経済環境課)

(財源：国県支出金243千円 その他特財395千円 一般財源21,279千円)

- ・ 畜犬管理システムで飼い犬の登録や管理、狂犬病予防注射の啓発を行いました。
- ・ 飼い主のいない猫の避妊・去勢手術及び譲渡を実施した団体に補助金の交付等を行いました。
- ・ 葬祭組合の管理運営に係る経費を負担しました。

(佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合 構成市町：佐倉市、四街道市、酒々井町)

◆環境保全対策事業◇

540千円(経済環境課)

(財源：その他特財20千円 一般財源520千円)

- ・ 河川水質検査等の環境調査を行いました。
- ・ あき地に繁茂している雑草等の除去に関する条例に基づき、指導・勧告等を行いました。
- ・ 印旛沼水質保全協議会等の運営に係る経費を負担しました。

◆地球温暖化対策推進事業◇

5,270千円(経済環境課)

(財源：国県支出金1,385千円 一般財源3,885千円)

- ・ 家庭における地球温暖化対策促進のため、太陽光発電システム(新築のみ)、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電池システム、電気自動車、V2H 充放電システムの住宅設備等を購入、設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・ ゼロカーボンシティの実現に向けて、事業推進フロー、タスクの洗い出し、PPA 事業の計画等を作成しました。
- ・ 令和5年7月に地球温暖化対策の一環として、CO2 排出削減のため、民間企業と「持続可能な地域づくりに関する協定」を締結し、当該企業において役場駐車場などに電気自動車普通充電器を設置しました。



◆清掃一般事務費◆

1,594千円（経済環境課）

（財源：国県支出金120千円 一般財源1,474千円）

- ・不法投棄監視員による月1回のパトロールを実施し、廃棄物及び残土の不法投棄監視を行いました。
- ・不法投棄された廃棄物の処分を行いました。
- ・年1回5月にゴミゼロ運動を実施しました。
- ・ごみ分別促進アプリの運用・更新を行いました。



物価高対策

新規

酒々井町独自

*酒々井町指定ごみ袋無料配布事業（7,502千円）

- ・コロナ禍によるエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受ける町内の世帯の生活を支援するため、指定ごみ袋を無料で配布する事業を実施しました。

◆じん芥処理事業◆

188,059千円（経済環境課）

（財源：その他特財1,479千円 一般財源186,580千円）

- ・一般家庭から排出される廃棄物の収集運搬を行いました。
- ・リサイクルを推進するため、資源回収を行う団体等に対し報償金、また、事業者に対し奨励金を交付を行いました。
- ・ごみ減量化を推進するため、ペットボトルの拠点回収等を行いました。
- ・生ごみ減量化を図るため、自家処理堆肥化容器（コンポスト）及び機械式生ごみ処理機を購入し設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・清掃組合の管理運営及び建設等に係る経費を負担しました。
（佐倉市、酒々井町清掃組合 構成市町：佐倉市、酒々井町）



◆し尿処理事業◆

15,775千円（経済環境課）

（財源：国県支出金416千円 一般財源15,359千円）

- ・印旛沼の水質浄化を目的に単独浄化槽から転換を推進するため、補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等を設置する町民に補助金の交付を行いました。
- ・衛生施設管理組合の管理運営等に係る経費を負担しました。
（印旛衛生施設管理組合 構成市町：佐倉市、四街道市、八街市、富里市、酒々井町）

まちづくり施策

新規

◆宅地耐震化事業◇

5,358千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金2,431千円 一般財源2,927千円)

大地震時における大規模盛土造成地の滑動崩落による宅地地盤の被害を防止するため、大規模盛土造成地の変動予測調査を行いました。

新規

◆空き家対策事業◇

2,713千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金2,034千円 一般財源679千円)

現在の空き家等の実態を踏まえ、空き家等の利活用の促進や地域住民の生活環境を保全するため、空き家実態調査を行いました。

◆都市計画マスタープラン・立地適正化計画見直し事業◇

4,251千円(まちづくり課)

(全額一般財源)

第6次酒々井町総合計画等の上位計画を踏まえ、町の将来都市像及び土地利用を明らかにするとともに、地域ごとのまちづくり方針を定め、既定の都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直しを行いました。

◆住宅耐震事業◇

626千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金341千円 一般財源285千円)

- ・木造住宅耐震診断費補助、耐震改修費補助

昭和56年5月31日以前に建築・着工された木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、木造戸建て住宅の耐震診断、耐震改修工事に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

- ・家具転倒防止器具購入補助

地震による家具の転倒等の被害から住民の身体の安全を確保するため、家具転倒防止器具等の購入又は取り付け費用に対し、補助金を交付しました。

◆住宅リフォーム補助事業◇

2,264千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金1,000千円 一般財源1,264千円)

町民の生活環境の向上及び町内産業の活性化・雇用の創出を目的とし、住宅のリフォーム工事に係る費用の一部に対し、補助金を交付しました。

◆建築指導事業◇

2,356千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金912千円 一般財源1,444千円)

・狭あい道路拡幅整備

幅員4メートル未満の町道に接する土地の所有者から後退用地や隅切り用地を町に寄付していただき、測量、登記及び拡幅整備を行いました。

町道の整備



◆社会資本整備総合交付金事業(道改) ◇17,202千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金3,278千円 地方債2,900千円 一般財源11,024千円)

町道02-012号線(飯積地先)について、道路改良を実施するため、路体盛土工時及び修正設計等を行いました。

町道の維持管理

◆社会資本整備総合交付金事業(道維) ◇84,190千円(まちづくり課)

(財源：国県支出金26,214千円 地方債19,200千円 一般財源38,776千円)

橋梁長寿命化修繕計画に基づく、高野台橋の補修工事、無名橋(20)の設計、JR酒々井駅自由通路(軌道上)の点検を行いました。

◆道路維持事業◇

67,256千円(まちづくり課)

(財源：その他特財15,372千円 一般財源51,884千円)

道路交通の安全性及び快適性を確保するため、舗装補修、側溝清掃、除草等、町道の維持管理を行いました。

◆駐輪場事業◇

16,896千円（まちづくり課）

（財源：その他特財9,810千円 一般財源7,086千円）

京成酒々井駅前、JR酒々井駅前及び南酒々井駅前の自転車等駐車場の管理を行いました。



河川の改修

新規

◆河川改修事業◇

72,273千円（まちづくり課）

（財源：地方債69,300千円 一般財源2,973千円）

上岩橋地先に設置予定の中川調節地を整備するため、用地購入を行い、馬橋川の緊急対策工事を実施しました。

公園の維持管理

◆総合公園管理事業◇

18,934千円（まちづくり課）

（財源：その他特財2,252千円 一般財源16,682千円）

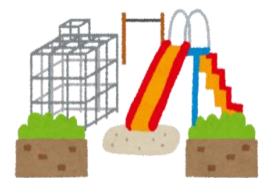
総合公園の植栽及び施設の維持管理を行いました。

◆街区公園管理事業◇

21,031千円（まちづくり課）

（全額一般財源）

街区公園の植栽及び施設の維持管理を行いました。



農業振興

◆農業振興管理事業◇

8,929千円(経済環境課)

(財源：国県支出金1,500千円 その他特財10千円 一般財源7,419千円)

農産物の生産振興のため、ふるさとまつり実行委員会や植物防疫協会などの団体に対し補助金等の交付を行いました。また、イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策に取り組みました。

コロナ対策

酒々井町独自

*第2弾 肥料等物価高騰対策農業者助成金(2,519千円)

・原油価格・肥料等物価の高騰により深刻な影響を受けている農業者に対し助成金を支給しました。

◆農業基盤整備事業◇

5,396千円(経済環境課)

(財源：国県支出金782千円 その他特財23千円 一般財源4,591千円)

農業・農村の有する水源の涵養・自然環境の保全等の多面的機能の発揮のため、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付しました。

◆生産調整推進対策事業◇

4,804千円(経済環境課)

(財源：国県支出金409千円 一般財源4,395千円)

生産調整協力者に奨励補助金の交付及び経営所得安定対策の推進のため地域農業再生協議会へ補助金の交付を行いました。

◆地域向上対策事業◇

887千円(経済環境課)

(財源：その他特財65千円 一般財源822千円)

地域住民の生活の充実、文化の向上及び社会活動を推進するため、農産物加工等を行える生涯生活センターの管理運営を行いました。

◆林業管理事業◇

3,312千円(経済環境課)

(全額一般財源)

森林整備等に必要な財源に充てるため令和元年度に創設され、国から町に譲与される森林環境譲与税を、将来の活用に備えて基金に積み立てました。

商業・工業の振興施策

◆商工一般事務費◆

4, 141千円（経済環境課）

（全額一般財源）

- ・安全な消費生活のために、悪質商法、契約に係るトラブルなどに関する相談について、毎週火曜日、消費者相談員による相談受付を行いました。
- ・まちづくりへの積極的な参画など、商工業の振興を図る事業を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。

*消費生活相談費	322千円
*町商工会事業補助金	3,800千円



◆商工業振興費◆

17, 799千円（経済環境課）

（財源：国県支出金13,976千円 一般財源823千円 その他3,000千円）

- ・地域の活性化や若手後継者、小規模事業者の育成など、振興を図る事業（商工会ハロウィンイベントなど）を行う町商工会に対し補助金の交付を行いました。
- ・企業が経営上必要とする事業資金の調達を円滑にするために資金の融資及び利子補給を行い企業の振興を図りました。
- ・酒々井町企業立地促進条例及び「酒々井町企業立地のご案内」を活用し、優良企業の立地を促進しました。
- ・産業の振興及び活性化を図るため、町内で創業する方に対し、補助金の交付を行いました。
- ・マイナンバーカードの普及及びキャッシュレス決済の促進、個人消費の活性化を図るため、マイナポイント申込みの支援を行いました。

物価高対策

新規

酒々井町独自

*酒々井町LPガス料金負担軽減助成金（9,190千円）

- ・LPガス料金の上昇により影響を受ける町内の利用世帯の負担を軽減するため、LPガスを利用している契約者に対し、助成金を支給しました。

コロナ対策

酒々井町独自

*第2弾 酒々井町原油価格高騰対策助成金（4,548千円）

- ・原油価格高騰により深刻な影響を受けている中小企業などに対し、事業の継続を支援するための助成金を支給しました。

◆観光事業◇

2,060千円（経済環境課）

（全額一般財源）

- ・町の特産品をJR酒々井駅のケースディスプレイに展示しました。
- ・JR酒々井駅西口、しすい・ハーブガーデン、まるごとしすいに導入した観光客向けの公衆無線Wi-Fiの維持管理を行いました。
- ・掲載情報やデザインが古くなっていたタウンガイドを刷新し、酒々井町観光ガイドマップを作成しました。

◆コミュニケーションセンター事業◇

7,647千円（経済環境課）

（全額一般財源）

酒々井プレミアム・アウトレット内の酒々井コミュニケーションセンターにおいて、訪れる方に町の観光物産等に関する情報を広く提供することにより、町のイメージアップと誘客を図りました。

◆コミュニティプラザ運営事業◇

18,646千円（経済環境課）

（財源：その他4,880千円 一般財源13,766千円）

コミュニティプラザには、大広間、浴室、多目的ホール等があり、健康増進や憩いの場として町民に利用されています。（予約申込は1か月前から電話予約可能）

【コミュニティプラザ】

利用時間：9：00～21：00（浴室11：00～20：00）

休館日：年末年始（施設等点検のため臨時休館あり）

利用料：大広間 1時間当たり 600円（夜間900円）

会議室 1時間当たり 200円（夜間300円）

浴室 1人当たり 100円（夜間150円）

多目的ホール

全面利用 1時間当たり 1,000円（夜間1,500円）

片面利用 1時間当たり 500円（夜間 750円）

※夜間料金は、午後5時から利用の場合です。

※町外の方は、料金が異なります。

新規

*酒々井コミュニティプラザ屋内消火栓設備工事・誘導灯交換工事

消火器具・自動火災報知設備交換工事（534千円）

- ・施設利用者や避難所としての安全に配慮した施設運営の維持を図りました。

◆ハーブガーデン運営事業◇

9, 131 千円（経済環境課）

（財源：その他1, 562千円 一般財源7, 569千円）

酒々井コミュニティプラザに隣接する酒々井ハーブガーデンの運営を行い、「ハーブのまち酒々井」のPRとあわせ、憩いの場の提供や、観光施設としての魅力向上に取り組みました。

しすい・ハーブガーデンショップウッドデッキが設置されてから約30年が経過し腐食が進んでいることから、来園者の利便性と安全性の向上を図るため、既存ウッドデッキを撤去し、森林環境譲与税を活用して新設工事を実施しました。



◆まるごとしすい運営事業◇

11, 843千円（経済環境課）

（財源：一般財源11, 430千円 利用者負担金413千円）

まるごとしすいでは、定期的なイベント等の開催により、アウトレット利用者呼び込み、特産品等のマーケティング、中小企業・小規模事業者への新たな特産品等の開発や販路の確立等の相談支援に取り組みました。

併せて、酒々井プレミアム・アウトレットの集客効果を活かすため、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーを設置し、町のイメージアップと街中への誘客を図りました。

【まるごとしすい】

営業時間：9：00～18：00

休館日：毎週月曜日及び年末年始 ※月曜日が祝日の場合は翌平日

利用料：

施設等	使用単位		使用料	
多目的ホール	1時間につき		町内	200円
			町外	500円
展示棚	1月につき	1区画	町内	1,000円
			町外	2,000円
レンタサイクル	1台につき		電動アシスト式自転車	500円
			自転車	300円
まるごとしすい	1日		町内	1,000円
			町外	2,000円

目標7 多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

町民参加・協働施策

◆住民公益活動補助事業◇

310千円(住民協働課)

(財源:一般財源301千円 その他9千円)

住民が行う自由で自発的な公益活動を支援し、住民参加による地域社会の発展及び協働のまちづくりの推進に資することを目的とした事業等について補助金の交付を行いました。

◆公園等愛護活動推進事業◇

2,104千円(住民協働課)

(全額一般財源)

町が管理する都市公園等について地域住民が主体となって実施する環境美化活動及び施設の保全維持管理活動を支援しました。

また、花植を行う団体に、年2回以内で花苗を支給する「花いっぱい運動」を行いました。

◆資材等支給事業◇

413千円(住民協働課)

(全額一般財源)

地域住民等が自ら施工する生活環境の整備工事等について、住み良い住環境整備の推進及び地域住民等の連携を図るため、必要な資材等の支給を行いました。

酒々井町独自

◆地理情報システム整備事業◇

6,908千円(住民協働課)

(全額一般財源)

町と住民等の行政情報及び地域情報を共有できるGIS(地理情報システム)を活用した住民の安全安心のまちづくりを推進しました。

◆公共活動広場用地管理事業◇

928千円(住民協働課)

(全額一般財源)

住民が利用できる広場として整備予定の土地の維持管理を行いました。

コミュニティ施策

◆地区集会所等補助事業◇

11,659千円(住民協働課)

(全額一般財源)

地域住民の自治活動の場としての集会所等の維持・管理等に要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動を推進しました。

また、横町青年館は、昭和43年に建築され50年以上が経過し、施設の老朽化が著しいため、地域住民の総意により建て替えを行うにあたり、経費の一部について補助を行いました。

◆自治振興事業◇

7,072千円(住民協働課)

(全額一般財源)

区・自治会など住民自治の振興を図るとともに、行政の円滑な運営と町民福祉の増進を図るために助成金を交付しました。

人権推進事業

◆人権推進一般事務費◇

12,220千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金5,084千円 一般財源7,136千円)

様々な人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、啓発活動を行いました。

人権教育の一環として、小・中学生を対象とした人権教室の実施、町内の小学生が描いた人権啓発ポスターの展示を行いました。

人権週間(12月4日から10日まで)では、人権をテーマとした講演会、広報車による巡回啓発を行いました。

*子ども家庭総合支援拠点事業委託業務 6,909千円

*子ども家庭総合支援拠点事業業務(会計年度任用職員) 3,270千円

すべての子どもとその家族等からの福祉に関する相談に応じて、必要な支援を継続的に行うため、「子ども家庭支援員」を設置した。会計年度任用職員2名及び福祉法人により1名を配置しました。

- ・DV相談 ・子ども家庭相談、児童虐待相談 ・子どもに関する相談・支援
- ・職員虐待対策講習会

◆隣保館運営事業◇

10,512千円(健康福祉課)

(財源：国県支出金6,700千円 その他25千円 一般財源3,787千円)

地域社会全体の福祉向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活相談や人権課題解決のため各種事業を行い、令和2年より中止していた酒々井町隣保館まつりを再開しました。

【基本事業】

- * 相談事業：就労に関する情報提供、生活相談（随時）
- * 啓発事業：人権ふれあい講座（6月29日・12月7日）
- * 地域交流事業：高齢者音楽健康教室（22回）、フラワーアレンジメント教室（11回）、
ヨーガ教室（19回）
- * 第8回隣保館まつり：令和5年10月14日（土）（延べ250名）

【貸館業務】

- * 生きがいデイサービス事業（81回）

【自主サークル活動】

- * 鎌倉彫（16回）・あみもの（23回）・カラオケ同好会（17回）・ふるさと会（17回）
健やか体操（20回）

議会からのお知らせ

◆議会運営事業◇

4,741千円(議会事務局)

(全額一般財源)

より開かれた議会を実現するため、議会だよりの内容を充実させるとともに、正確な記録の管理、正確な情報伝達を図り、インターネット上に会議録や本会議の中継動画を公開することにより、議会を傍聴できない方にも配慮した情報公開に努めました。

*議会だよりの作成事業（1,385千円）

町民に議会活動を周知（年4回）

*会議録作成事業（1,248千円）

議会定例会・臨時会ごとに会議録を作成し、ホームページで公開

*議会中継事業（1,514千円）

インターネットによる議会中継を配信

*議場設備整備事業（594千円）

議場放送設備等保守

広報広聴

◆広報広聴事業◇

5,377千円（企画財政課）

（財源：その他610千円 一般財源4,767千円）

町民がまちづくりに自主的に参加しやすいものとなるよう、行政情報の積極的な提供を通じて、町民と町との情報の共有と相互理解を深め、町民参加のまちづくりを進めるため、正確かつタイムリーな行政情報や町民参加の各種イベントなどを掲載した「広報ニューしすい」を毎月1回発行しました。

また、各種イベントや耳より情報、防災など町の旬な情報を発信していくことを目的に「町公式X（旧ツイッター）」、「町公式LINE」及び「JR酒々井駅西口デジタルサイネージ」を活用しながら、情報提供を行いました。

企画一般施策

◆企画一般事務費◇

42,584千円（企画財政課）

（財源：国県支出金3,720千円 その他22,265千円 一般財源16,599千円）

町マスコットキャラクター等を積極的に活用し、酒々井町の施策や魅力等を町内外に広く情報発信するシティプロモーション活動を推進し、交流・関係人口増加や定住促進を図りました。



*印旛郡市広域市町村圏事務組合の管理運営等に係る負担金（7,805千円）

構成市町：成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、栄町、酒々井町

コロナ対策

酒々井町独自

*公共交通事業者緊急支援金（1,000千円）

町民の移動手段を確保するため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業に大きな影響を受けつつ、従業員及び利用者の感染防止に努めて運行を継続しているバス事業者及びタクシー事業者に対して補助金を支給しました。

◆印旛広域水道事業◇

3,756千円（企画財政課）

（財源：地方債3,300千円 一般財源456千円）

印旛郡市広域市町村圏事務組合が構成市町への水道用水の安定供給、効率的な事業運営を行うための経費に係る負担金及び出資金として支出しました。

*出資金：3,678千円 *負担金：78千円

情報の管理

◆情報化推進事業◇

43,710千円（総務課）

（財源：その他特財750千円 一般財源42,960千円）

高度情報化社会に対応した効率的な行政と住民サービスの向上を図るため、必要なハードウェアやソフトウェアの運用及び維持管理を行いました。また、町ホームページを積極的に活用して町内外に広く情報を発信できるよう体制を強化しました。



人事管理

◆総務一般事務費◇

24,310千円（総務課）

（財源：その他特財1,818千円 一般財源22,492千円）

人事管理や職員の健康管理を図るため、人事給与システム委託や職員の定期健康診断を行ったほか、自治功労者表彰などを行いました。

また、職員の能力開発や資質向上を図り、住民ニーズや時代の変化に対応できる職員の育成を行うため研修などに参加しました。

- *市町村アカデミー研修
- *千葉県自治研修センター研修
- *印旛郡市町村職員研修（印旛郡市広域市町村圏事務組合主催）等



庁舎管理事業

◆庁舎管理事業（管財）◇

21,011千円（企画財政課）

（財源：その他319千円 一般財源20,692千円）

役場庁舎及び付帯施設の機能の維持及び執務環境の確保等を図るため、保守点検及び清掃等、庁舎の維持管理を行いました。

◆庁舎管理事業（施設管理）◇

1,744千円（企画財政課）

（全額一般財源）

役場庁舎の機能の維持を図るため、駐車場舗装修繕及び西庁舎空調設備更新工事を行いました。

戸籍・住民基本台帳事業

◆戸籍住民基本台帳一般事務費◇

52,896千円(税務住民課)

(財源：国県支出金10,755千円 その他6,636千円 一般財源35,505千円)
親族的身分関係を登録・公証する「戸籍」の適正な処理と、住民の居住関係の公証や各種行政サービスの基礎となる「住民基本台帳」の正確な管理を行いました。

また、国が推進するマイナンバーカードの交付・更新事務と県民の利便性に配慮した旅券事務を適切に処理しました。

*戸籍届出件数 807件

*転入届件数 1,800件

*転出届件数 1,708件

*証明書発行件数：戸籍4,801件 住民票11,222件 印鑑証明書5,325件

*パスポート交付数 468件

税の確保

◆賦課徴収事業◇

70,757千円(税務住民課)

(財源：国県支出金34,950千円 その他6,690千円 一般財源29,117千円)
町税は、町民の皆様の幸せ、住みよいまちづくりのための財源として重要な役割を果たしています。
そのため賦課徴収事業では課税客体調査業務や各種電算業務委託等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行い、令和5年度の町税収入は2,985,922千円となりました。

各特別会計、水道・下水動事業

【国民健康保険特別会計】

◆国民健康保険特別会計◇ 2,094,820千円（健康福祉課）

(財源：国県支出金1,500,908千円 保険税368,742千円 その他74,275千円
一般財源150,895千円)

※被保険者数 3,968人(年度末)

※保険給付費 1,472,869千円 74,015件

① 療養給付費 1,265,519千円 68,939件

(入院1,011件、外来35,105件、歯科9,104件、調剤23,516件、訪問看護203件)

② 療養費 7,641千円 1,398件

(補装具、柔道整復師、アンマ・マッサージ、針・灸など)

③ 高額療養費 190,845千円 3,626件

④ 高額介護合算療養費 610千円 13件

⑤ 出産育児一時金 4,000千円 8件

⑥ 葬祭費 1,550千円 31件

⑦ 審査支払手数料 2,704千円

相互扶助の精神に基づき、加入者が保険税を公平に拠出することにより、主に病気、けが、出産及び死亡による経済的な損失を補うための保険給付を行いました。

※保健事業 32,896千円

被保険者の健康増進並びに医療費の適正化を図るため、糖尿病などの生活習慣病の発病や重症化を予防し、メタボリックシンドロームの該当者などを減少させるため、特定健康診査及び特定保健指導を実施しました。また、早期発見と早期治療に役立てるため、人間ドック費用の7割を助成しました。

⑧ 特定健康診査・特定保健指導 13,207千円 948人受診

(動機づけ支援64人、積極的支援14人)

⑨ 人間ドック費用の助成 13,675千円 360人利用

【介護保険特別会計】

◆介護保険特別会計◇ 1,528,670千円（健康福祉課）

(財源：国県支出金503,775千円、保険料311,781千円、その他508,861千円
一般財源204,253千円)

※要介護認定事業(12,991千円)

要支援・要介護認定申請者に対して、訪問調査及び介護認定審査会で要介護度判定を行いました。

*審査会 24回

*認定件数 延べ 898件

*認定状況

・非該当	14件	・要介護1	222件
・要支援1	84件	・要介護2	148件
・要支援2	109件	・要介護3	110件
		・要介護4	131件
		・要介護5	80件



*基本チェックリストによる判定 23人

※介護サービス等給付事業（1,369,541千円）

要支援・要介護認定者 939人（令和6年3月末現在）に対し、保険給付を行いました。

*施設サービス 488,267千円 *高額介護（予防）サービス 31,270千円

*居宅サービス 817,733千円 *特定入所者介護（予防）サービス 26,500千円

*審査支払手数料 1,133千円 *高額医療合算介護（予防）サービス 4,638千円

※介護予防事業（1,743千円）

- ・一般介護予防教室等（626千円）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら教室を開催しました。

開催教室：11講座 実施回数：39回 参加人数（延べ）：519人

出前健康講座 10回開催 参加人数（延べ）142人

- ・介護ボランティア事業（1,092千円）

65歳以上の方が介護保険施設でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進を図りました。

登録者数：30人

※地域包括支援センター運営事業（28,324千円）

地域包括支援センターを設置し、高齢者の心身の健康の維持、保健・福祉・医療等の向上、生活の安定等のため、相談事業等の必要な支援を行いました。



*総合相談業務 1,345件

*権利擁護業務 77件

*ケアマネジメント支援業務 63件

*基本チェックリスト該当者支援 13件

【後期高齢者医療特別会計】

◆後期高齢者医療特別会計◇

339,016千円（健康福祉課）

（財源：国県支出49,751千円 一般財源4,036千円 保険料285,229千円）

75歳（一定の障害のある方は65歳）以上を対象とした後期高齢者医療制度について、千葉県後期高齢者医療広域連合（注1）と連携を図り、被保険者からの各種届出等の窓口業務及び保険料の徴収を適切に行いました。

※被保険者数3,925人（年度末） ※総務費3,167千円

※後期高齢者医療広域連合納付金335,184千円

【水道事業】

◆水道事業◇

(上下水道課)

※財源内訳は、次の収益的収支・資本的収支

【事業概要】

水道事業は、地方公営企業法に基づき、水道施設を使った人から使った程度に応じて水道料金を負担していただく「受益者負担の原則」により、独立採算制で経営されています。

皆様のご家庭まで水を送り届ける営業活動の経費は、主に水道料金でまかなわれ、配水管の布設などに要する経費は、分担金等でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しています。

【概要】

・給水件数	9,514件
・年間総給水量	2,176,994 m ³
・一日平均給水量	5,948 m ³

【収益的収支】

・水道事業収益	527,280千円
水道料金	462,993千円
加入負担金	18,962千円
その他	45,325千円
・水道事業費用	446,955千円
営業費用	443,166千円

(料金徴収業務、浄水場運転管理業務、法定水質検査、量水器交換業務、動力費等)

企業債利息	3,789千円
その他	0千円

【資本的収支】

・資本的収入	392,617千円
企業債	376,700千円
分担金	15,917千円
その他	0千円
・資本的支出	525,142千円
建設改良費	491,506千円

 東酒々井地先配水管布設替工事(9工区、10工区)、尾上浄水場電気設備更新工事、
 飯積地先水管橋布設替工事他

企業債償還金	33,636千円
--------	----------

《詳しくは、上下水道課 電話 496-7725》

【下道事業】

◆下水道事業◇

(上下水道課)

※財源内訳は、次の収益的収支・資本的収支

【事業概要】

下水道事業は安定した下水道サービスを提供し、効率的で安定的な事業運営を行うため、企業会計方式を導入しています。

皆様のご家庭からの汚水を終末処理場へ排水する営業活動の経費は、主に下水道料金でまかなわれ、排水管の布設などに関する経費は、企業債や補助金でまかなわれます。前者を収益的収支、後者を資本的収支として経理上区分しております。

【業務量】

・接 続 戸 数	8, 6 6 8 戸
・年間総排水量	2, 4 9 9, 2 7 3 m ³
・一日平均排水量	6, 8 3 9 m ³

【収益的収支】

・下水道事業収益	3 9 5, 0 6 0 千円
下水道使用料	3 3 6, 3 0 7 千円
その他	5 8, 7 5 3 千円
・下水道事業費用	4 4 7, 7 0 8 千円
営業費用	4 3 4, 2 2 3 千円

(汚水管清掃業務、ポンプ場及びマンホールポンプ維持管理業務、流域下水道維持管理費、料金徴収業務等)

企業債等利息	8, 3 1 9 千円
その他	5, 1 6 6 千円

【資本的収支】

・資本的収入	9 0, 5 5 7 千円
企業債	6 4, 6 0 0 千円
出資金	0 千円
補助金	2 0, 1 2 8 千円
その他	5, 8 2 9 千円
・資本的支出	1 8 8, 6 8 8 千円
建設改良費	1 3 5, 5 9 0 千円

中川 2 号幹線整備工事、飯積地区汚水管整備事業、墨マンホールポンプ場ポンプ更新工事、宗吾酒々井線歩道整備に伴う汚水管移設工事他

企業債償還金	5 3, 0 9 8 千円
--------	---------------

《詳しくは、上下水道課 電話 4 9 6 - 7 7 2 5》